

日本における銀行業の競争度：再考

大東文化大学 郡司 大志
法政大学大学院 三浦 一輝

本稿は、Boone (2008, *Journal of Institutional and Theoretical Economics* 164, 587-611) によって提案された方法を用いて、日本における銀行業の競争度を推定する。都市銀行、地方銀行、および第二地方銀行のデータを用いて検証した結果、先行研究で得られた結果とおおむね同じであるものの、一時期においてはかなり異なる結果も見られた。特に、地方銀行では期間を通して競争度の変動は少ない一方、都市銀行では大きな変動があることが明らかとなった。

Keywords: 地方銀行; 都市銀行; 競争度; Boone Indicator

JEL classification codes: G21; L13; R51